

2021.6.15（火）付 日刊スポーツ紙4面に硬式野球部が掲載されました！

掲載していただいた、日刊スポーツ様に感謝申し上げます。また、ご支援いただいている皆様にも結果で恩返しできるよう頑張ります！今後とも町田工業硬式野球部を宜しくお願い致します！



集合写真に納まる町田工ナイン

第103回全国高校野球選手権の各地方大会が、まもなくスタートする。コロナ禍の苦しい環境下でも、全力で野球に取り組んできた球児たち。それぞれの思いを抱いて迎える2年ぶりの夏が、やってくる。

町田工ナインの心包む 手作り防球ネット

町田工（西東京）のグラウンドには、手作りの防球ネットがある。小松雄一監督（38）が「ありがたい。普段の学校生活を大切にすれば見ている人は見ているんだ」と教えられた。と感謝する練習の相棒。昨冬、野球部を応援しようと機械科の先生と生徒がタッグを組んで、L字形を2枚制作してくれた。言われなければ販売品と思ってしまうクオリティーだ。

クオリティー

打球から守ってくれるだけなく、ナインの心を奮い立たせてくれる存在だ。自身も機械科で学ぶ金田唯斗主将（3年）は「感謝しかないです。サポートしてくれる方たちのためにも頑張りたい」と力を込める。この夏を迎えるまでは紆余（うよ）曲折があった。昨秋の都大会予選前の部員はわずか5人。他校と連合チームでの参加も検討されたが、部員たちは「自分たちのチームで出たいんです」とこだわった。小松監督は「各部落に頭を下げて



小松雄一監督の打撃指導を受ける町田工ナイン

